

## I. 既存の歴史文化資源に関する調査の概要

### I-1 歴史文化資源に関する調査

泉佐野市では、平成2年（1990）の泉佐野市文化財保護条例に基づき、市内の各種歴史文化資源の基礎調査に着手した。

泉佐野市に残る古文書、民俗、考古、史跡、建造物、美術工芸品等の各種歴史文化資源は平成2～4年度（1990～1992）の3か年をかけて、泉佐野市文化財保護審議会の指導のもと調査を実施し、「泉佐野の文化財基礎調査報告書」としてまとめている。また、市内に存在する埋蔵文化財包蔵地（遺跡）内外における民間開発に伴う埋蔵文化財発掘調査は昭和54年度（1979）から泉佐野市に専門職員を配置し、継続して発掘調査を実施し、現在遺跡数は124か所となっている。

市の歴史文化資源に関する既存の地誌類、自治体史、調査報告書等は下記のとおりである。

書籍名等	発行	編集	発行年
日本與地通志畿内部（和泉）		並河誠所	享保21年
和泉名所図会		秋里籬島	寛政8年
泉南紀要	泉南郡役所		明治42年
泉南紀要	泉南郡役所		大正6年
大阪府全志		井上正雄	大正12年
大阪府史蹟名勝天然記念物 第4冊（泉南郡・泉北郡）	大阪府学務部		昭和4年
上之郷郷土誌		上之郷農業補修学校	昭和6年
郷社現行特殊慣行神事	大阪府学務部		昭和9年
北中通村誌			昭和10年
長瀧村志		相澤正彦	昭和15年
市勢紀要 昭和26年度版	泉佐野市	泉佐野市役所企画調査課	昭和26年
泉佐野市史	泉佐野市	柴田實	昭和33年
泉佐野市勢紀要	泉佐野市	市勢紀要編纂委員会	昭和39年
拾遺泉州志	和泉文化研究会		昭和42年
大阪府文化財調査報告書第18輯 大阪府の民家III	大阪府教育委員会		昭和42年
ふるさと探訪	泉佐野市	(溝端常次郎編 昭和60年)	昭和60年
歴史の道 「熊野紀州街道」論考編	大阪府教育委員会		昭和62年
歴史の道 「熊野紀州街道」調査報告編	大阪府教育委員会		昭和62年
大阪府の近世社寺建築 近世社寺建築緊急調査報告書	大阪府教育委員会		昭和62年
昭和63年度 有形文化財・無形文化財等総合調査報告書	大阪府教育委員会	文化財保護課	平成1年
泉佐野の歴史と文化財 I 泉佐野の神社建築	泉佐野市教育委員会		平成4年
泉佐野の文化財基礎調査報告書 I	泉佐野市教育委員会	泉佐野市文化財保護審議会	平成5年
泉佐野の文化財基礎調査報告書 II	泉佐野市教育委員会	泉佐野市文化財保護審議会	平成5年
泉佐野市内史跡・名勝・天然記念物調査報告書（調査カード）	泉佐野文化財愛護推進委員会		平成5年
泉佐野の歴史と文化財 II 原始・古代編	泉佐野市教育委員会		平成5年

書籍名等	発行	編集	発行年
日根荘総合調査報告書	財団法人大阪府埋蔵文化財協会		平成 6 年
泉佐野の歴史と文化財III 中世編	泉佐野市教育委員会		平成 7 年
泉佐野の歴史と文化財IV 街道にみる史跡編	泉佐野市教育委員会		平成 8 年
泉佐野の歴史と文化財V 日根神社まくらまつり・春日神社夏祭り編	泉佐野市教育委員会		平成 9 年
泉佐野市都市景観マスターplan	泉佐野市		平成 9 年
特別展 大坂夏の陣 横井合戦	歴史館いずみさの		平成 9 年
泉佐野市史資料第1集 泉佐野市内の社寺に残る棟札資料	泉佐野市教育委員会	泉佐野市史編さん委員会(建築部会)	平成 10 年
泉佐野の歴史と文化財VI だんじり・やぐら編	泉佐野市教育委員会		平成 10 年
新修泉佐野市史 第13巻 絵図地図編	泉佐野市	泉佐野市史編さん委員会	平成 11 年
泉佐野の歴史と文化財VII ふるさとの風景	泉佐野市教育委員会		平成 11 年
大阪府の近代和風建築 大阪府近代和風建築総合調査報告書	大阪府教育委員会	大阪府近代和風建築総合調査委員会・社団法人大阪府建築士会	平成 12 年
泉佐野の歴史と文化財IX ふるさとの生業	泉佐野市教育委員会		平成 12 年
泉佐野市史資料第3集 泉佐野市民俗調査報告書第2集 長滝の民俗	泉佐野市教育委員会	泉佐野市史編さん委員会(民俗部会)	平成 13 年
日根荘の遺跡と史料	莊園研究会・歴史館いずみさの	莊園研究会	平成 17 年
新修泉佐野市史 第9巻 考古編	清文堂出版株式会社	泉佐野市史編さん委員会	平成 18 年
新修泉佐野市史 第10巻 民俗編	清文堂出版株式会社	泉佐野市史編さん委員会	平成 18 年
新修泉佐野市史 第11巻 建築・美術編	清文堂出版株式会社	泉佐野市史編さん委員会	平成 18 年
新修泉佐野市史 第12巻 かんがい水利編	清文堂出版株式会社	泉佐野市史編さん委員会	平成 18 年
大阪府の近代化遺産 大阪府近代化遺産(建築物等)総合調査報告書	大阪府教育委員会	大阪府近代化遺産(建築物等)総合調査委員会・社団法人日本建築家協会近畿支部・編集工房レイヴン	平成 19 年
大阪府の民俗芸能 大阪府民俗芸能緊急調査報告書	大阪府教育委員会	文化財保護課	平成 21 年
なにわ・大阪文化遺産学叢書 13 神社を中心とする村落生活調査報告 (三)大阪府-大阪府 堺市・岸和田市・泉北郡・泉南郡-／兵庫県	関西大學なにわ・大阪文化遺産学研究センター		平成 22 年
泉州志		石橋直之	
大阪府史	大阪府		
市報いずみさの(縮刷版)	泉佐野市		
郷ふるさと			
泉佐野の文化財(旧)	泉佐野市教育委員会		
会報	泉佐野の歴史と今を知る会		

## I-2 市内文化財総合的把握調査

歴史文化基本構想策定に向け、地域の歴史文化資源の特性を把握するため、平成26～28年度（2014～2016）の3か年、市内文化財総合的把握調査を実施した。

文化財保護法や大阪府文化財保護条例、泉佐野市文化財保護条例に基づいて指定等文化財はもちろん、未指定の歴史文化資源でも泉佐野市の地域性・特色を構成すると思われるものについては調査対象とした。近世以前にさかのぼる歴史文化資源を基本としつつ、近代以降のものでも生業・交通・戦時など地域の暮らし等に深くかかわるものを見た。また、2頁で定義した必ずしも「文化財」に該当しないもので、各地域にとって重要で守り伝えていくべきものについても把握対象とした。

本調査によって、長南地区374件、佐野地区356件、北中地区233件、日根野・土丸・大木地区506件で、市域全体で1,469件の歴史文化資源が把握された。調査結果の概要は以下の通りである。

表2-1 市内文化財総合的把握調査一覧(件数)

区分1	区分2	区分3	長南	佐野	北中	日根野・ 土丸・大木	全体
			旧長瀧村・ 旧南中通村	旧佐野村	旧北中通村	旧日根野村・ 旧大土村・ 旧上之郷村	
有形文化財			266	310	173	236	985
建造物			119	80	87	108	394
美術工芸品			147	230	86	128	591
絵画			24	122	31	38	215
彫刻			30	18	18	30	96
工芸品			18	6	6	21	51
書跡・典籍			0	15	1	3	19
古文書			30	40	19	26	115
考古資料			32	10	11	5	58
歴史資料			13	19	0	5	37
重要美術品			0	1	0	0	1
無形文化財			0	0	0	0	0
民俗文化財			51	16	18	124	209
有形民俗			11	7	14	4	36
無形民俗			40	9	4	120	173
記念物			54	25	41	75	195
遺跡			45	21	38	61	165
名勝地			1	4	0	5	10
動物、植物、地質鉱物			8	0	3	9	20
文化的景観			0	0	0	64	64
伝統的建造物群			2	2	0	0	4
必ずしも文化財に該当しない もので、各地域にとって重要 で守り伝えていくべきもの			1	2	1	7	11
合計			374	356	233	506	1469

### I-3 寺社建築調査

本市に現存する寺社建築について、その特質と歴史文化資源としての価値を明らかにするため、調査を実施した。

これまで本市では、『泉佐野市文化財保護条例』制定にともなう調査（平成2～4年（1990～1992））、並びに『新修泉佐野市史』の編纂に係る調査を実施してきたが、時間的な制約から調査対象とする建物を限定せざるを得ず、市内に残る寺社建築の十分な把握には至らなかったことから、本調査では3か年にわたり、長南中学校区（平成26年度（2014））、佐野中学校区・第三中学校区（平成27年度（2015））、日根野中学校区（平成28年度（2016））の調査を行った。調査結果の概要は以下の通りである。

表2-2 調査対象校区と寺社建築の特徴

	長南中学校区	佐野中学校区・第三中学校区	日根野中学校区
寺院建築の特徴	浄土宗・浄土真宗のみで、真言・天台宗、禅宗、日蓮宗など他宗派の寺院がない。	浄土宗・浄土真宗・日蓮宗・真言宗のみで、天台宗・禅宗の寺院がない。	浄土宗・真言宗が比較的多く、浄土真宗の寺院がほとんどない。日蓮宗寺院もない。村で管理し、集会などに用いた村堂（惣堂）がみられる。
神社建築の特徴	船岡神社、八幡神社（流造）、蟻通神社（春日造）がある。	加支多神社（一間社流造）、奈加美神社（三間社流造）がある。	日根神社、意賀美神社、火走神社があり、社殿形式はいずれも春日造である。

#### ■市内の寺社建築の特徴

- ①海側の佐野・第三校区には、建立時代が17世紀に遡る仏堂が現存する一方、平野部から山側の長南校区・日根野校区では、18世紀後半以降に建立された建物が大部分を占める。
- ②日根野校区には、室町時代から江戸時代初期にかけて建てられた神社建築が多く所在する。とりわけ、上之郷・大木には建立年代の古い本殿がみられ、その大部分は一間社春日造<sup>いっけんしゃかすがづくり</sup>であり、この地域における社殿形式の主流をなしている。また、横長拝殿が多数現存し、なかには中央に馬道を通した割拝殿形<sup>わりはいでん</sup>式の建物もみられる。
- ③日根野校区のうち大木地区には、村あるいは村人の一部が管理する村堂（惣堂）が現存し、現在でも住民による維持・管理が行われている（近年、村堂は各地の寺社建築の調査でとりあげられ、文化財としての価値が認められるようになっている）。
- ④特徴的な細部意匠を持つ寺社建築が多い。寺院建築では、虹梁<sup>こうりょう</sup>の絵様に浮き彫り彫刻を施す事例が広範にみられる。また、浄土真宗寺院本堂では、内外陣境<sup>うちげいんざんきやく</sup>を精巧な彫刻で飾る事例が多く確認できた。一方、神社建築では、近世初期に建てられたものを中心に、豪華な彫刻で飾り立てられた事例を多数見ることができた。こうした建物の造営には、優秀な工匠の存在が必要であり、近世初頭に腕の良い工匠がこの地域に居住したこと、江戸時代には町場や村々に住む工匠がさまざまな神社の造営に携わり、活発に活動していたことがわかる。

#### I-4 地区別の歴史文化資源分布状況

今までに実施してきた歴史文化資源に関する調査の結果を整理すると、地区別・時代別の歴史文化資源の分布状況は下表のとおりである。

表2-3 地区別・時代別の歴史文化資源分布状況(件数)

			建造物	美術工芸品	無形文化財	民俗文化財	遺跡	名勝地	動物・植物	地質鉱物	文化的景観	伝統的建造物群	必ずしも文化財に該当しないもので、各地域にとって重要な守り伝えいくべきもの
長南地区	旧長瀧村・旧南中通村	先史		10									
		古代		22			2						
		中世	4	5			2						
		近世	40	63		2	4						
		近代	20	14		1	2						
		現代	10	2									
		その他	時代に幅あり	8	11			1					
		その他	時代不詳	37	20	48	35		8	2	1		
佐野地区	旧佐野村	先史											
		古代		2									
		中世	1	14			5	1					
		近世	42	111		2	6						
		近代	15	22									
		現代	2	43			2						1
		その他	時代に幅あり	1	13		1	1	1				
		その他	時代不詳	19	26		13	7	2		2	1	
北中地区	旧北中通村	先史		4									
		古代		6									
		中世	2	6			2						
		近世	16	43			1						
		近代	14	10									
		現代		8									
		その他	時代に幅あり		5								
		その他	時代不詳	47	12		18	35		3		1	
日根野・上之郷・土丸・大木地区	旧日根野村・旧大土村・旧上之郷村	先史		1									
		古代		6			1						
		中世	9	16		1	12			2			
		近世	40	60		1	2			1		2	
		近代	11	12		1				1			
		現代		8		1	1						
		その他	時代に幅あり	2	9		1	8		25			
		その他	時代不詳	38	24	119	37	5	9	35		5	

※空欄は未把握のもの

表2-4 時代別遺跡(埋蔵文化財)分布状況(件数)

		官衙跡	古墳	社寺跡	集落跡	城館跡	生産遺跡	その他の遺跡	その他の墓
遺跡	先史			1	35	1	1	9	3
	古代	1	8	5	47	1	2	13	
	中世			16	55	5	9	34	1
	近世			1	18			8	1
	近代								
	現代								
	その他	時代に幅あり							
	時代不詳								

※空欄は未把握のもの

## 2. 歴史文化資源の概要

### 2-1 建造物の概要

長い歴史を有する泉佐野市では、「慈眼院多宝塔(国宝)」や「火走神社摂社幸神社本殿(重要文化財)」などの社寺、「奥家住宅(重要文化財)」や「新井家住宅(国登録有形文化財)」などの民家、銭湯である「大将軍湯(国登録有形文化財)」など多様な建造物が指定等文化財となっている。社寺は市内に広く分布しているが、民家は、未指定文化財を含むと佐野町場のある佐野地区に比較的多く分布している。

国宝や重要文化財といった指定等文化財は、泉佐野市の代表的な観光資源となっている。また、公有化されて文化財施設となっている「旧向井家住宅」などは市民活動の場としても活用されている。

### 2-2 美術工芸品の概要

#### (1) 絵画

泉佐野市は社寺や旧家が多いことから、多くの美術工芸品が残されている。そのうちの絵画には、「七寶瀧寺絹本着色不動明王二童子四十八使者図(府指定有形文化財)」や「元成寺絹本着色親鸞聖人絵伝」などの指定等文化財があり、仏画に関するものが多い。泉佐野市は日本画家である向井久万や小川翠村の出身地であることから、指定等文化財には仏画だけでなく近現代の日本画も含まれている。

#### (2) 彫刻

彫刻には、「慈眼院大日如来坐像(府指定有形文化財)」や「永福寺木造阿弥陀如来立像(市指定有形文化財)」などの指定等文化財があり、そのすべてが仏像である。未指定文化財も含むと、彫刻の多くは近世のものであるが、平安時代や室町時代のものも残されている。

### (3) 工芸品

工芸品には、「七宝瀧寺 剣 金象嵌銘「国吉」附 須利伽羅龍宝劍 振」(府指定有形文化財)や「妙淨寺 梵鐘 (市指定有形文化財)」、「七宝瀧寺 銅鉢 (市指定有形文化財)」といった指定等文化財があり、「妙淨寺 梵鐘」を除く2件は鎌倉時代のものである。未指定文化財を含むと、彫刻と同じく近世のものが多く、平野部や山間部の寺社に比較的多く分布している。

### (4) 書籍・典籍

書籍・典籍には、「妙光寺 紙本墨書き 大覚大僧正曼荼羅本尊 (市指定有形文化財)」や「妙光寺 絹本着色 日延上人曼荼羅本尊 (市指定有形文化財)」、「妙光寺 紙本墨書き 朗源上人曼荼羅本尊 (市指定有形文化財)」といった指定等文化財があり、いずれも妙光寺が所属している室町時代のものである。未指定文化財を含んでも、書籍・典籍を所蔵している寺院は、妙光寺の他に、明厳寺、妙淨寺、西方寺、西上寺、総福寺に限られ、ほとんどが佐野地区に分布している。

### (5) 古文書

古文書には、「奥家文書」や「七宝瀧寺文書」などがあるが、指定等文化財はない。近世・近代のものが多く、社寺だけでなく旧家が所有するものもある。地域的には佐野地区に多く分布している。

### (6) 考古資料

考古資料には、「三軒屋遺跡出土 石棒 (市指定有形文化財)」や「湊遺跡出土 鳥帽子 (市指定有形文化財)」といった指定等文化財がある。未指定文化財も含めてほとんどは先史から近世の出土品であり、土器や石器、木器、鉄器、瓦など多様な考古資料がある。海岸部の湊遺跡からは蛸壺や製塩土器が出土しており、海との繋がりがうかがえるものもある。

### (7) 歴史資料

歴史資料には、「蟻通神社 蟻通奉納百首和歌 (市指定有形文化財)」や「近世日根野村絵図 附 文書一通 (市指定有形文化財)」などの指定等文化財があるが、未指定文化財を含んでも16件ほどしかない。

## 2-3 無形文化財の概要

演劇、音楽、工芸技術等にかかるもので歴史上、芸術価値の高いものをいい、いわゆる人間の形のない「わざ」のことをさすが、本市では漁法、タオル産業、農業等で該当するものがあるか、今後調査を実施する必要がある。

## 2-4 民俗文化財の概要

### (1) 有形民俗文化財

指定等文化財としては、市指定有形民俗文化財である「長瀧 中ノ番 扱きだんじり」と「慈眼院 こけら経」がある。いずれも信仰に関するものであり、「長瀧 中ノ番 扱きだんじり」は修理を重ねながら現在も蟻通神社の祭礼で使用されている。未指定のものとしては、祭礼に使用されるだんじりやふとん太鼓、修験信仰に使用される道具など信仰に関する民俗文化財が存在している。

## (2) 無形民俗文化財(食文化・伝承等含む)

指定等文化財としては、市指定無形民俗文化財である「樺井さんや踊り」と「大木火走神社秋祭りのにぎりダンジリ行事」、「佐野くどき」、「日根神社まくらまつり」がある。未指定のものとしては、だんじりやふとん太鼓の宮入などを行う祭礼、地蔵講や庚申講など様々な信仰による講、農家が飼育する牛の無事息災を祈願してまつられた牛神信仰、義犬伝説などの伝承、だんじり祭でも縁起物とされているガザミ(ワタリガニ)を食べる食文化、江戸時代より生産されている佐野木綿など、様々な風俗慣習、民俗芸能、民俗技術がある。これらは、古代から現在に至るまでの様々な歴史の重層性から、現在の文化や営みに繋がっていることを示している。

表2-5 泉佐野市にまつわる食文化・伝承等

名称	概要	主な地区
ガザミ (ワタリガニ)	一般的には「ワタリガニ」と呼ばれる。昔から泉州でとれる食材で、だんじり祭でも縁起物として今まで食され続けている。	旧佐野村
蟻通神社 蟻通明神 と紀貫之の伝説	平安時代に紀貫之が蟻通神社を通った時に落馬したため、蟻通の神への非礼をあらためて和歌を詠んだという故事。世阿弥の制作した能「蟻通」もこの故事をもとにしている。	旧長滝村
じゃこごうこ	水ナス、胡瓜、大根などの古漬と、エビジャコと一緒に甘辛く煮た家庭料理。泉州独自の郷土料理のひとつ。	全地区
茅渟の宮跡の伝承 (衣通姫)	古代の允恭天皇が衣通姫を茅渟宮に住まわせ、しばしば茅渟宮に行幸したとする伝承。江戸時代の地誌「泉州志」「和泉志」「和泉名所図会」にみえる。	旧上之郷村
牛神信仰	農家が飼育する牛の無事息災を祈願してまつられた民間信仰の神。今日でも上之郷や日根野の一部の集落で、牛神祭りが行われている。	旧上之郷村・ 旧日根野村
義犬伝説	大蛇に狙われた猟師が犬により助けられたとする伝説。犬鳴山の山号の由来とされている。伝説の初見は文亀2年(1502)筆写の七宝瀧寺縁起。	旧大土村
志津の涙	犬鳴山七宝瀧寺に伝わる伝説。官女志津が恋慕する僧侶を追って犬鳴山で亡くなった後、志津の涙の水が流れるようになったといわれる。	旧大土村
マゼのじいさん	大木に伝わる怪力のじいさんの伝承。ひじ岩、手毬岩、マゼ峠などの話がある。	旧大土村

## 2-5 記念物の概要

### (1) 遺跡(史跡)

日根野・大木・土丸地区において国史跡「日根荘遺跡」が点在している。「日根荘遺跡」は、絵図で描かれた寺社堂などの建築物やため池、丘陵などの景観が現在でもよく残されており、全国的にも有名な中世の荘園遺跡である。「史跡日根荘遺跡保存活用計画」を平成30年3月に改訂し、重要文化的景観「日

## 第2章 泉佐野市の歴史文化資源の概要

根莊大木の農村景観とともに、歴史文化資源として様々な保存・活用が進められている。「日根莊遺跡」以外には、府史跡「佐野王子跡」や未指定の「茅渟宮跡」、「熊野街道・紀州街道」など、中世に限らず古代や近世の史跡も存在する。

市内を流れる河川沿いには、旧石器から近世に至る遺跡が地下に眠っている。樫井川流域の三軒屋・諸目遺跡からは、縄文時代及び弥生時代の集落跡と方形周溝墓等の墓域が、また棚原遺跡からは弥生時代の高地性集落の存在がうかがわれる。古墳時代には集落跡、長滝古墳群（埋没小古墳）、飛鳥時代の横穴式石室（石ノ子古墳）、禪興寺跡より山田寺式や川原寺式軒瓦が見つかっている。平安時代にかけて官人層や渡来系氏族との関係が指摘される。中世では、九条家領日根莊とも関わりが深く、上之郷・日根野・上町・上町東・市場東遺跡、大木遺跡（長福寺跡）、土丸・雨山城跡、樫井城跡を代表として市内で最も普遍的に存在する時期である。最近では、安松田遺跡から粘土採掘坑と東大寺鎌倉再建瓦が数点出土し、窯をつくり、瓦製作をしていたことが判明した。近世の遺跡としては、山出遺跡、若宮遺跡、食野家邸宅跡等がある。

表2-6 国史跡日根莊遺跡指定地一覧

名称	所在地	名称	所在地
日根神社	日根野	井川	日根野
慈眼院	日根野	火走神社	大木
総福寺	日根野	香積寺跡	大木
野々宮跡	日根野	蓮華寺	大木
新道出牛神	日根野	毘沙門堂	大木
十二谷池	日根野	円満寺	大木
八重治池	日根野	長福寺跡	大木
尼津池	日根野	土丸・雨山城跡	土丸・熊取町

### (2) 名勝地

葛城修験道の靈場である「犬鳴山」が大阪府の名勝として指定されており、山中にある七宝瀧寺とともに自然と名刹のある景観が形成されている。未指定のものとしては、古代から歌枕や名所として知られる「佐野松原」や日根神社付近の渓谷である「ろじ渓」などがあるが、数は多くない。

### (3) 動物、植物、地質鉱物(天然記念物)

日根野地区に存在する「北庄司邸のいすのき」、「北庄司邸のくす」、「慈眼院の姥桜」の3件が大阪府の天然記念物として指定されている。未指定のものとしては社寺や邸宅の樹木があり、動物や地質鉱物に関する天然記念物は把握調査では確認されていない。

山間部に位置する和泉山脈には、本市域でも中生代白亜紀後期の地層である和泉層群が分布し、アンモナイト、モササウルス、貝をはじめとする化石が発見されている。また、国内では稀であるが、ナトリウムとアルミニウムを主成分とする炭酸塩鉱物で石の表面に白い花が咲いたようなドーソン石が産出される。

樫井川流域の大木地区では、絶滅危惧種となっている生物が多数生息する。

このような自然的資源は希少、重要なものであり、今も地域の人々によって大切に守り受け継がれている。

## 2-6 伝統的建造物群の概要

指定等文化財はないが、港町である本町地区において、「さの町場」と呼ばれる古い町並みが残されている。「佐野町場」は、15世紀末頃にはすでに町として機能をもっており、豪商である食野家や唐金家などが拠点とした泉州地域随一の商業都市であった。現在においても、網の目のような細い路地や江戸中期の町屋である「<sup>きゅうにいがわけじゅうたく</sup>旧新川家住宅(泉佐野ふるさと町屋館)」などの古民家、廻船問屋や商人たちが所有していた蔵である「いろは蔵」などがあり、歴史的景観を形成している。

「佐野町場」以外の地域においては、旧街道沿いなどに古民家はあるが、まとまって存在して古い町並みとなっているところは少ない。

## 2-7 文化的景観の概要

泉佐野市の山間部にある大木地区において、大阪府初の重要文化的景観である「<sup>ひねのしょうおおぎのうそんけい</sup>日根荘大木の農村景観」が存在している。「日根荘大木の農村景観」は、中世荘園である日根荘を起源として、近世から現代にかけて緩やかに進化してきた農村景観である。

平成25年10月に重要文化的景観として選定される前の平成17年度より現地調査を行っており、平成20年3月に「日根荘地域の文化的景観(大木・土丸地区)調査報告書」を刊行、平成25年1月には「文化的景観日根荘の里保存活用計画書(大木・土丸編)」を作成している。

選定後は、地区住民によって組織された大木まちづくり協議会が主体となり、大木小学校と連携して長福寺跡での農空間体験や日根荘大木の里コスモス園の開園など、景観選定地のPR業務を継続的に実施している。こうした活動は文化的景観を次の世代へ継承していくためにも不可欠なものである。

表2-7 「日根荘大木の農村景観」の重要な構成要素の考え方

<b>水系</b>	日根荘以来の用水系を構成する河川・ため池・井堰・用水路
<b>農地</b>	各水系によるまとまりのある農地(段丘崖や畦畔の石積み、農作業小屋等)
<b>集落</b>	社寺堂・建築物／屋敷廻り、道・水路を構成する石積み
<b>道</b>	旧街道、参道、旧道(集落・ため池などをつなぐ道・絵図に描かれた道等)
<b>山林</b>	盆地周囲の山林(水系の集水範囲)

表2-8 「日根荘大木の農村景観」での取り組み

取り組み名	概要	
<b>地域の環境学習</b>	樺井川の観察や生き物を採集・観察調査を年数回実施。他に地域の歴史文化資源や自然環境について調べ（大木探検）、地域学習のまとめを発表。	
<b>景観カルタづくり</b>	平成20年度（2008）には、3、4年生の児童が地域の悪いところ、好きなところなどを俳句で詠み、大木地区の景観カルタを作成し、カルタ取り大会を実施。	
<b>農作業体験</b>	地元の方々の協力の下、毎年5、6年生が農作業体験を実施。平成19年度（2007）からは長福寺跡の一部で田植え、稻刈り、脱穀作業を実施。	
<b>郷土芸能の伝承</b>	地元の方々が児童や中学生に、地域のお祭りである「大木担いだんじり」のお囃子の練習と盆踊りの練習を実施。	
<b>長福寺跡の活用</b>	平成19年度（2007）より、長福寺跡において「大木史跡保存会」が、史跡維持管理と周辺景観との調和をめざした、野外展示として稻作を実施。現在は、「大木まちづくり協議会」が実施。	
<b>ため池・水路の管理</b>	「大木土地改良区」が井堰・水路・ため池の管理を行っている。良好な自然環境が維持され、多様な動植物の生息地になっている。	
<b>日根荘大木の里 コスモス園</b>	平成27年度（2015）より「大木まちづくり協議会」が主催となり、豊かな自然と歴史が息づく環境を次世代に受け継ぐ活動を展開している。	

## 2-8 遺跡（埋蔵文化財）の概要

遺跡（埋蔵文化財）は市内の随所に分布しており、先史から近世に至るまで、多様な遺跡が分布している。特に先史から中世に至る集落跡の遺跡が多く、社寺跡や生産遺跡も比較的多い。

## 2-9 ふるさと文化財の森の概要

意賀美神社境内林が文化財修復に使用する檜皮の産地として、平成20年（2008）にふるさと文化財の森に設定されている。意賀美神社境内林は、概ね林齢200年の天然林と林齢20年の人工林で構成されており、檜皮採取可能なヒノキは約100本ある。

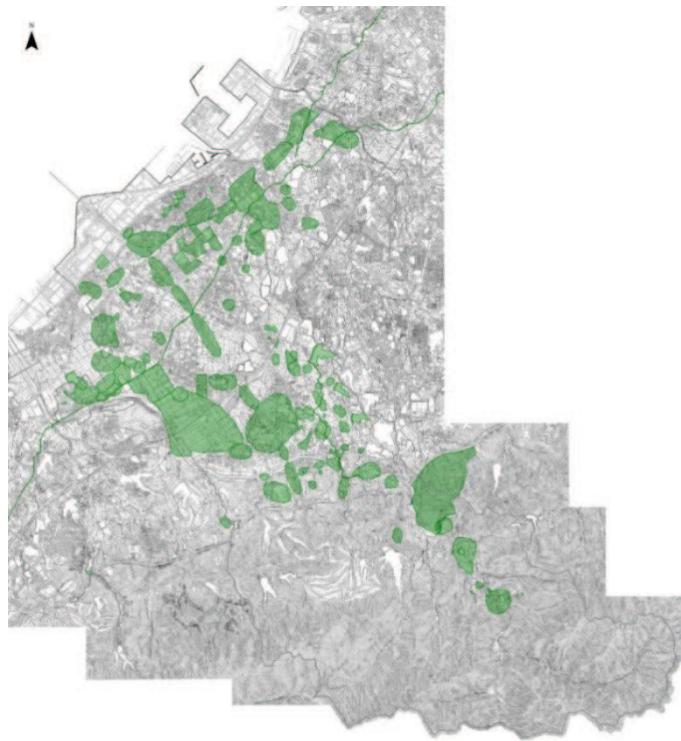


図2-1 周知の埋蔵文化財包蔵地の分布状況

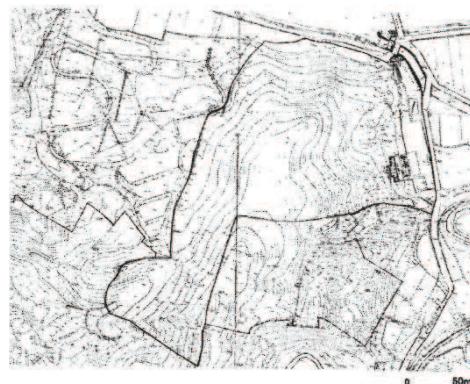


図2-2 「ふるさと文化財の森」  
意賀美神社境内林の分布範囲

## 2-10 必ずしも「文化財」に該当しないもので、各地域にとって重要で守り伝えていくべきものの概要

泉佐野市の歴史や文化財の理解に繋がる地域性のあるものや、文化財の周囲にあって文化財と一体となって価値を高めるもの等、「文化財」に該当しない生活文化、国民娯楽、佐野弁、地域を示す特徴的な名字等や自然環境についても今後の詳細な調査・整理する必要がある。

### 3. 指定等文化財の概要

#### 3-1 本市の指定等文化財の一覧

本市には国・府・市の65件の指定等文化財があり、平成2年（1990）に制定した「文化財保護条例」に基づき、市内の貴重な指定等文化財の保護に努めている。

表2-9 指定等区分・類型別文化財件数

類型		国 指 定 ・ 選 定 ・ 認 定	都 道 府 県 指 定 等	市 町 村 指 定 等	国 登 録	都 道 府 県 登 録	市 町 村 登 録	合 計
有形文化財	建造物	6	3	4	6	0	0	19
	美術	絵画	0	1	10	0	0	11
	彫刻	0	2	7	0	0	0	9
	工芸品	1	1	2	0	0	0	4
	書籍・典籍	0	0	3	0	0	0	3
	芸品	古文書	0	0	0	0	0	0
	考古資料	0	0	2	0	0	0	2
	歴史資料	0	0	4	0	0	0	4
	無形文化財	0	0	0	0	0	0	0
民俗文化財	有形	0	0	2	0	0	0	2
	無形	0	0	4	0	0	0	4
記念物	遺跡（史跡）	1	1	0	0	0	0	2
	名勝地（名勝）	0	1	0	0	0	0	1
	動物、植物、地質鉱物 (天然記念物)	0	3	0	0	0	0	3
伝統的建造物群		0	0	0	0	0	0	0
文化的景観		1	0	0	0	0	0	1
合計		9	12	38	6	0	0	65

(令和2年（2020）8月現在)

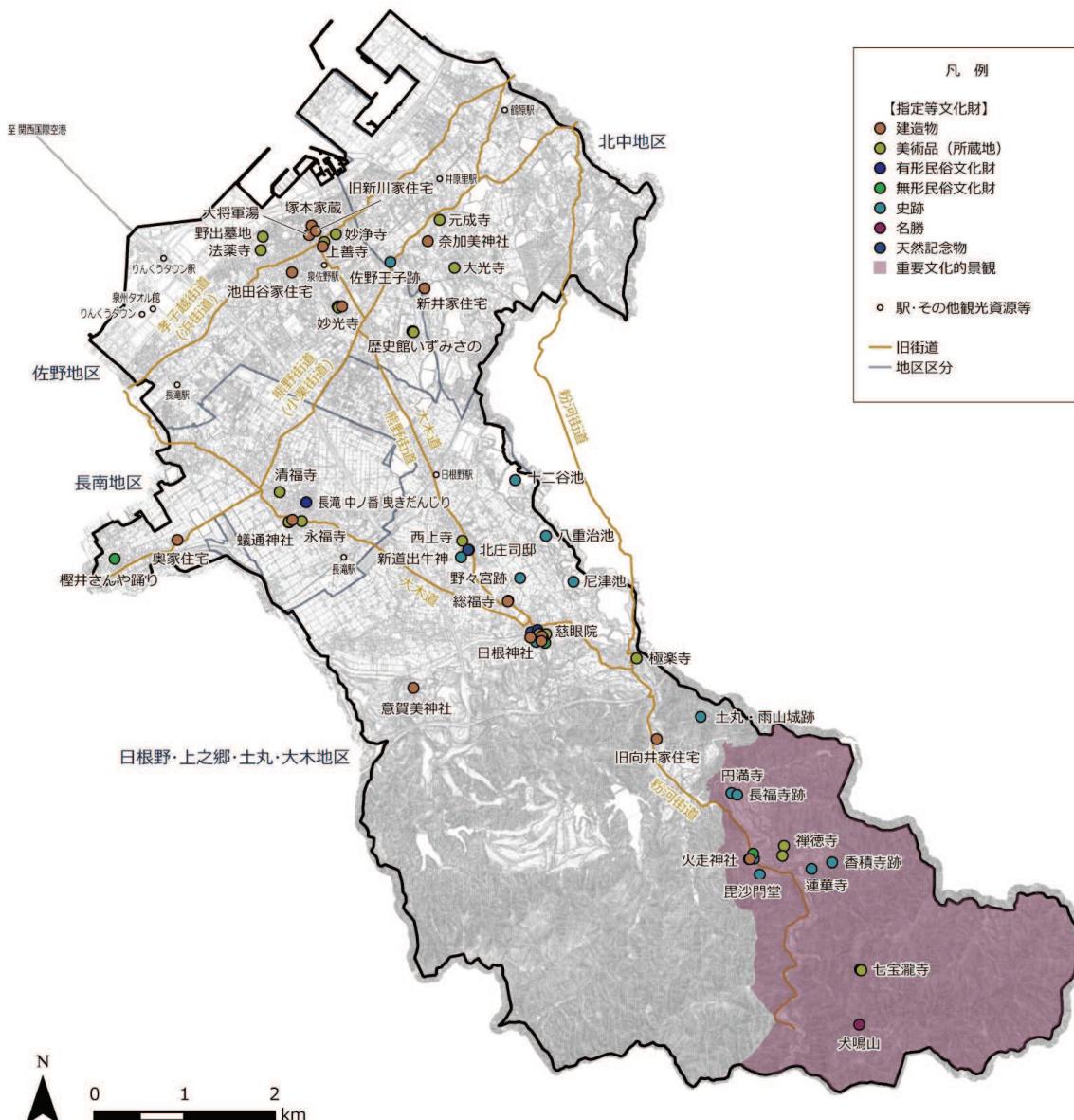


図2-3 指定等文化財の分布状況

### 3-2 本市の指定等文化財の概要

#### (1) 有形文化財 建造物

名称	区分	概要	
慈眼院 多宝塔 附 仏壇 1基	国宝	日根野地区の樅井川沿いに立地。文永8年（1271）に建立された本市唯一の国宝建造物。高さ 10.5m で全国の多宝塔の中でも小型。白鳳2年（674）に天武天皇の勅願寺として開創されたと伝えられ、中世には隣接する日根神社（大井関明神）の神宮寺である。府指定文化財の大日如来坐像、持国・多聞天像を安置する仏壇がある。（S28.11.14 指定）	
意賀美神社 本殿	重要文化財	上之郷地区の樅井川左岸の市内を一望できる高台にあり、武塔天神とも呼ばれ、上之郷、長滝地区の雨水豊作の神。棟木銘から嘉吉2年（1442）の建立で、市内最古。一間社春日造で唐破風をつけた向拝を持つ。境内林は文化庁ふるさと文化財の森に設定されている。（T13.4.15 指定）	
火走神社 攝社 幸神社本殿	重要文化財	「延喜式神名帳」に記される式内社のひとつ。瀧宮・瀧大明神と呼ばれ、日根荘入山田村の總社。幸神社は火走神社本殿、攝社春日神社と並んで建てられている。（H5.8.17 指定）	
慈眼院 金堂 附 棟札 2枚	重要文化財	多宝塔の隣にあり、毘沙門堂、薬師堂とも呼ばれていた。三間四方、寄棟造本瓦葺、正面に一間の向拝をつける。薬師如来坐像を本像とし、庶民信仰のこけら経を納める。（M36.4.15 指定）	
總福寺 鎮守天満宮本殿	重要文化財	日根野久ノ木に所在し、日根野村荒野開発絵図の禅林寺に比定。行基が開いたとされる。本尊は十一面觀音で總福寺の境内にある。建物は一間社春日造、檜皮葺の梁間寸法が 2 尺（約 60 cm）の小社で、天正 4 年（1576）の棟札の写しが、慈眼院に残る。（S53.5.31 指定）	
奥家住宅 主屋・表門・土蔵 附 堀	重要文化財	南中樅井を通る熊野街道沿いにある。南北朝期に樅井城城主であった奥氏が元和2年（1616）に帰農し、庄屋となった。主屋は広い土間と泉州特有の喰い違い四間取りで享保12年（1727）、表門が19世紀前半、西土蔵が19世紀初期、東土蔵は明治3年（1870）建造。（S44.6.20 指定）	
新井家住宅 玄関・座敷・奥座敷・ 主屋・蔵・門・堀	国登録有形文化財	泉州タオル（後晒タオル）誕生に尽力した新井末吉氏が昭和7年（1932）に迎賓館を兼ねて自邸として建築。舶来雑貨商の新井家は大阪市北浜にある登録有形文化財新井ビルも所有。檀波羅丘陵上の約 2300 坪の敷地内に大書院、書院、居宅の3棟に見事な和風庭園がある。（H11.7.8 登録）	

名称	区分	概要	
塚本家住宅蔵 つかもと け じゅうたくくら 冢本家 住 宅 蔵	国登録有形文化財	江戸時代の豪商、覚野兵蔵家の屋敷にあった米蔵の1つ。江戸時代末期のもの。切妻造の木造平屋で昭和初期に改築、市指定文化財の旧新川家住宅に近接し、現在は認定NPO法人泉州佐野にぎわい本舗が所有。(H20.4.18登録)	
いけだ や け じゅうたく 池田谷家住宅 おもや くら 主屋・蔵	国登録有形文化財	建築家・郷土史家池田谷久吉氏設計の自邸。主屋は寄棟造・桟瓦葺の木造平屋。寺院古材を用いた3畳の茶室や軒下の漆喰塗壁が高い等の特徴がある。昭和2年(1927)頃の建築。2階建の蔵は久吉氏の書斎を復元。(H16.3.29登録)	
じょうぜんじ 上善寺 ほんどう くり おもてもん 本堂・庫裏・表門・ 裏門・鐘楼・経蔵 うらもん しょうろう きょうぞう	国登録有形文化財	旧佐野町場にあり、泉南地域の浄土宗中本山。様々な建築物を配した伽藍配置。江戸時代から明治時代のもので、特に本堂は入母屋造、本瓦葺の天和3年(1683)建立。明治初期の表門には佐野組大工の見事な彫刻がみられる。(H20.7.8登録)	
ありとおしじんじゃ 蟻通神社 ほんてん はいでん へいでん 本殿・拝殿及び幣殿・ すき 透 楼・後門及び東西透 すき ぼくろう こうもん とうひ 堦・舞殿・表門・裏門・ え まくろん て みずしゃ 絵馬殿・南、北手水舎・ たい こ ばし 太鼓橋	国登録有形文化財	長瀧地区の鎮守。穴通明神とも呼ばれ、日根野村荒野開発絵図に描かれる。戦時中の陸軍飛行場建設により現在地へ移転。紀貫之の和歌、清少納言「枕草子」、世阿弥の謡曲「蟻通」に登場し、熊野詣との関わりが深い神社。戦国期の織田信長の兵火で焼失。江戸期に岸和田藩主岡部家により再建。万治3年(1660)に建立の舞殿では、今も蟻通薪能が催される。(H27.8.4登録)	
だいしょくぐんゆ 大将軍湯	国登録有形文化財	佐野町場にあたる本町の宇大將軍にある銭湯。「だいじの湯」ともいう。大正～昭和初期の建築。玄関は唐破風で扉にタイルが貼られ、アクセントにマジョリカタイルを使用した小さな風呂屋。御影石の浴槽、石畳が特徴。(H30.11.2登録)	
ひねじんじゃ ほんてん 日根神社 本殿	府指定有形文化財	日根野・上之郷・長瀧地区の神社。「延喜式神名帳」にのる式内社で、和泉五社に数えられた神社。天正4年(1576)の兵乱で焼失後、豊臣秀頼が慶長7年(1602)に再建した。正和5年(1316)、日根野村荒野開発絵図の大井関大明神で、日根莊の総社。毎年5月にまくらまつりが実施される。(S47.3.31指定)	
まつしや ひめじんじゃ ほんてん 末社比売神社 本殿	府指定有形文化財	神功皇后創建の伝承がある式内社で、日根神社に合祀された。日根野村荒野開発絵図の溝口大明神である。江戸時代には衣通姫を祭神としたとされる。昭和57年(1982)に解体修理を実施。(S47.3.31指定)	

## 第2章 泉佐野市の歴史文化資源の概要

名称	区分	概要	
奈加美神社 本殿 附 棟札9枚	府指定有形文化財	佐野・井原・中庄の総社。古くは大宮大明神と呼ばれる。多様な彫刻や極彩色で華麗な装飾が特徴的である。織田信長の紀州攻めで焼失し、慶長15年（1610）に再建。元和元年（1615）の板図が残る。時番番付と廻り番付けをもとに昭和56年（1981）に復元。（H5.11.24指定）	
妙光寺 三十番神堂 附 棟札3枚	市指定有形文化財	三十番神とは、日本国中の30の神々が1カ月の間、順番に国と人々を守る神のこと。三十番神堂に祀られる。日蓮宗寺院では法華宗の守護神として寛文3年（1663）に建立され、現在は本堂の北側に移築。一間社春日造。（H7.4.4指定）	
旧向井家住宅	市指定有形文化財	空港連絡道路の建設に伴い、建築当初の姿で上之郷機場から土丸に移築。主屋は桁行四間×梁間五間の茅葺屋根で、庇は本瓦、棟は雁振瓦葺き。土蔵の梁に享和2年（1862）の墨書きがある。クチノマ、ザシキ、ダイドコ、ナンドと土間の喰い違い四間取りで泉南紀北の様式。（H5.12.2指定）	
火走神社 本殿	市指定有形文化財	横には重要文化財摂社幸神社本殿がある。一間社春日造で、建築年代は擬宝珠柱銘から元和8年（1622）と分かる。壁面に僧侶が描かれており、神仏習合の様子を感じさせる。（H5.8.6指定）	
旧新川家住宅 附 土蔵（内蔵）	市指定有形文化財	佐野町場の中の本町にある。広い主屋に内蔵、外蔵があり、重厚な建築となっている。主屋は南向き、西南端に角屋の離れがある。屋根はしつ2階建て、入母屋造、本瓦葺の鎧屋根。主屋はクチノマ、ナカノマ、ダイドコ、ナンドと土間の喰い違い四間取りで、天明年間（1781～89）頃と考えられる。画家日根対山の襖絵もある。（H5.8.6指定）	

### （2）有形文化財 絵画

名称	区分	概要	
七宝瀧寺絹本着色 不動明王二童子四 十八使者図	府指定有形文化財	南北朝期の不動明王の絵画。画面中央に不動明王とその眷属の矜羯羅・制多迦の二童子を表し、その左右に四十八使者を描く。岡山県宝光寺にある同じ図様のものと全国で2点しかない希少な作品。（H24.3.15指定）	

名称	区分	概要	
七宝瀧寺絹本着色 不動明王八大童子図	市指定有形文化財	中央に左手に縞索を持ち直立する不動明王、断崖に八大童子、左下に切先を上に立てた宝剣、俱利伽羅龍が絡みつく俱利伽羅龍剣が描かれている。当山開基の役行者が「犬鳴不動出現図」の本尊として得た。室町時代に活躍した等倍梅の作品。(H5.8.6 指定)	
元成寺絹本着色 親鸞聖人絵伝	市指定有形文化財	親鸞聖人の生涯を4幅の掛幅装に描く、市内最古の御絵伝。紙背に墨書きがあり、永正10年(1513)、本願寺第九世実如が石川県金沢市清沢本泉寺に下付したもの。(H7.1.10 指定)	
七宝瀧寺絹本着色 尊勝曼陀羅図	市指定有形文化財	中央に金剛界大日如来、周囲に蓮華座に座す八大仏を、下半中央の供養壇をはさみ三角中の不動明王と半月輪中の降山世明王が対峙する。南北朝時代から室町時代初期の制作と考えられ、切金や裏箔の技法が使われている。(H5.8.6 指定)	
禅徳寺絹本着色 釈迦三尊十大弟子 及び十六羅漢図	市指定有形文化財	釈迦三尊十大弟子を1幅に、十六羅漢を2幅に描く3幅の作品。室町時代前期の禅宗絵画。豪商食野家の時雨林庵に佐野村田中忠左衛門が寄贈したものが明治に伝來したもの。(H6.8.12 指定)	
妙光寺絹本着色 仏涅槃図	市指定有形文化財	室町時代特有の作風で、妙光寺第5世日源上人が重宝として施入した作品。永享6年(1434)の作品。(H7.4.4 指定)	
西上寺絹本着色 仏涅槃図	市指定有形文化財	毎年2月に行われる涅槃会の本尊。画面全体を沙羅双樹が覆い、尼連禪河を斜めに描いているのが特徴。禽獣が画面下方に集められて描かれることから室町時代の作品。(H23.5.6 指定)	

## 第2章 泉佐野市の歴史文化資源の概要

名称	区分	概要	
巻通神社板地著色 三十六歌仙図絵馬 附桐箱二合	市指定 有形 文化財	歌人各一人ずつを檜材の縦長型の一枚板に描いたもの。三十六人を左右二組にわけ、当社ゆかりの紀貫之を筆頭にすべて背面に「万治三年三月」(1660)の墨書銘があり、それを収納する桐箱2合も残る。それにも万治2年、画工狩野主計の名が見える。(H6.8.12 指定)	
紙本著色 浮游(向井久万筆)	市指定 有形 文化財	日本画家向井久万(上之郷出身)が、昭和26年(1951)に創造美術展に出品した作品。戦中戦後にかけて文展・日展で活躍し、「創造美術」を結成し、以後はここを発表の場とした。裸婦表現に定評のあった作者のデザイン感覚が加味されている。(H15.3.13 指定)	
巻通神社板地著色 神馬図絵馬	市指定 有形 文化財	岸和田藩第4代藩主の藤原長敬が奉納した。絵馬で、享保6年~9年(1721~1724)の頃の奉納と考えられる。画師の狩野憲信の作品。(H6.8.12 指定)	
絹本着色廃園晚秋 (小川翠村筆)	市指定 有形 文化財	日本画家小川翠村(日根野出身)の大正14年(1925)に帝展で特選を受賞した作品。翠村は西山翠嶂の画塾で塾頭を務めた。(H15.3.13 指定)	

### (3) 有形文化財 彫刻

名称	区分	概要	
慈眼院 大日如来坐像	府指定 有形 文化財	慈眼院多宝塔内に安置されている本尊で、寄木造、漆箔仕上げ、彫眼の大日如来像である。平成2年(1990)の修理で藤原時代の優美な姿が再現された。(S51.3.31 指定)	
西光寺 木造薬師如来坐像 及 向脇侍像	府指定 有形 文化財	九条政基の「政基公旅引付」に登場する村堂にある。三尊は西光寺薬師堂の須弥壇上の厨子に安置されており、本尊が寄木造、両脇侍の日光菩薩が一木割矧造、月光菩薩が一木造と造像技法が三種三様。日光菩薩の台座裏に「進上久安元」(1145)の墨書銘がある。(S57.3.31 指定)	
永福寺 木造阿弥陀如来立像	市指定 有形 文化財	慶長2年(1597)に開基した明福寺(元古代寺院禪興寺)の旧蔵品。一木割矧造、漆箔仕上げ、彫眼で、大木西光寺の像と良く似ており、それより少し古い12世紀中頃の制作か。(H6.8.12 指定)	

名称	区分	概要	
上善寺 木造阿弥陀如来立像	市指定有形文化財	本尊とは別に庫裏で御内仏として祀られている。上品下生印に結ぶ一木造の技法等により、12世紀前半の制作とみられる。(H15.3.13 指定)	
法薬寺 薬師如來坐像	市指定有形文化財	縁起によると、佐野浦の沖で漁師が本尊を拾い上げたとの記述がある。像体内に正徳2年(1712)銘の修理銘札が納められ、食野家の援助を得て、京都の仏師が修復したことが分かる。(H19.4.6 指定)	
野出墓地 石造六地蔵菩薩立像・ 石造六觀音菩薩立像・ 石造釈迦如來立像・ 石造阿彌陀三尊立像	市指定有形文化財	野出町にある共同墓地内の16軀の石造仏群。すべて花崗岩製。院刻名から元禄8年(1695)と11年(1698)の作。大道思想の教義に基づく葬列配置。(H19.4.6 指定)	
極樂寺 木造阿彌陀如來坐像	市指定有形文化財	像高99cm、一木割矧造、割首、彫眼、肉身部は漆箔、衣部は古色仕上げで、体部と両膝は頭初からのもの。胎内に「藤原姉子為十三年□□／銭百文施入」の墨書きが残り、平安時代のものか。(H8.4.4 指定)	
大光寺 木造藥師如來坐像	市指定有形文化財	等身大で一木割矧造、彫眼の技法により12世紀後半の製作とみられ、体内に江戸時代の柿板5枚が納められている。病氣平癒を願う人々の民間信仰が伺える。元湊裏のあった薬師堂より移された。(H6.8.12 指定)	
清福寺 木造千手觀音菩薩坐像	市指定有形文化財	像高33.0cm、本堂に向かって左脇黒漆塗壺厨子に祀られる。四十の脇手に合掌する二手を足した一木割矧造の技法でつくられ、室町彫刻の特色を残す。光背に放射光状にたくさんの脇手を付けるのは珍しい形。(H6.8.12 指定)	

#### (4) 有形文化財 工芸品

名称	区分	概要	
七宝瀧寺剣 金象嵌銘「国吉」 附俱利伽羅龍寶劍拵	府指定有形文化財	全長21.2cm、幅1.8cmの剣で、鎌倉時代の刀工国吉の特徴を持つ。江戸時代末期の土佐藩主山内宗義が旧蔵したと伝え、昭和12年刀剣研究家伊東巳代治氏より寄贈。(H1.3.1 指定)	

## 第2章 泉佐野市の歴史文化資源の概要

名称	区分	概要	
妙淨寺 梵鐘 みょうじょうじ ぼんしょう	市指定有形文化財	天和2年(1682)に佐野の豪商唐金兄弟が施主となって春日神社に奉納し、明治時代に神仏分離の際に妙淨寺に移った。市内最古の梵鐘。鋳工は堺の池田氏、鐘銘は榎原篁洲の撰。(H8.4.4指定)	
七宝瀧寺 銅鉢 しちぱうりゅうじ どうばち	市指定有形文化財	側面に銘により、弘安2年(1279)に制作されたことが分かる。東大寺「三昧堂」の法華会用の仏具と考えられる。鋳堂製、蓋付きの高さ17.7cmの小型の鉢で、類例のないもの。(H5.8.6指定)	

### (5) 有形文化財 書跡

名称	区分	概要	
妙光寺 紙本墨書 だいかくだいそうじょうまんたらほんぞん 大覚大僧正曼荼羅本尊	市指定有形文化財	大覚上人が唱題の時に傘の内にかけて使用した軸装の「傘の内の曼荼羅」。延文3年(1358)に泉州地方を布教した際、妙光寺の建立に深くかかわるもの。(H7.4.4指定)	
妙光寺 絹本墨書 にちえんしょうにんまんぼくしょ 日延上人曼荼羅本尊	市指定有形文化財	妙光寺第四世日延上人の曼荼羅。これら3幅の曼荼羅は美術的・歴史的価値を持つ。永享10年(1438)の作。(H7.4.4指定)	
妙光寺 紙本墨書 ろうげんしょうにんまんたらほんぞん 朗源上人曼荼羅本尊	市指定有形文化財	妙光寺第二世朗源僧都の曼荼羅本尊で、第三世日祐上人に授与されたもの。天地左右が切り詰められている。貞治年間(1362~1368)の作。(H7.4.4指定)	

### (6) 有形文化財 考古資料

名称	区分	概要	
三軒屋遺跡出土 せきばう 石棒	市指定有形文化財	上之郷から長滝の樅井川右岸にかけて、旧石器時代から弥生・古墳時代の遺跡である三軒屋遺跡から出土。縄文時代の呪術品のシンボルで、近畿地方では出土例が少ない。和歌山県紀の川流域でとれる緑色結晶片岩製。(H6.8.12指定)	
湊遺跡出土 えぼし 鳥帽子	市指定有形文化財	佐野川下流左岸に広がる湊遺跡から平成4年(1992)度の発掘調査で、中世の屋敷跡と土坑墓群が発見され、その墓に供えられた黒漆を塗る布製の鳥帽子。(H6.8.12指定)	

## (7) 有形文化財 歴史資料

名称	区分	概要	
ありとおしじんじゃ <b>蟻通神社</b> ありとおしほうのうひやくしゅわか <b>蟻通奉納百首和歌</b>	市指定 有形 文化財	しょうとく 正徳2年(1712)に日根郡下出村(阪南市下出)の石橋直之が奉納した百枚の和歌短冊。(H6.8.12 指定)	
きんせいひねのむらえす <b>近世日根野村絵図</b> もんじょ 附 文書一通	市指定 有形 文化財	さがんは 江戸時代に日根野庄村屋を務めた日家に伝わる日根村に関する絵図群。全部で18の絵図(慶長13年(1608)～嘉永3年(1850))と附の「片桐且元裁許状」(慶長13年(1608))がある。日根荘の中世村落景観を研究する上で重要な資料。(H15.3.13 指定)	
いぬなきさんしほうりゆうじ <b>犬鳴山七宝瀧寺</b> おおぎむらえす 並びに大木村絵図	市指定 有形 文化財	さがんは 泉佐野市大銀木の火走神社所蔵の村絵図。岸和田藩に提出を命じられた「一現村絵図」の1つと考えられ、美術的価値もある。市指定「日根野村絵図」と描写が似ることから江戸時代後期(天保年間)と考えられる。(H24.12.5 指定)	
じげんいん もくぞうむなふだ <b>慈眼院 木造棟札</b> きょうろく (享禄三年至昭和二 六年)	市指定 有形 文化財	さがんは 日根神社の神宮寺として隣の日根神社本殿の建立に関わる棟札(慶長7年(1602))を含め、20枚を保存。享禄3年(1530)から大正12年(1923)までの建立・修復に関わる歴史資料。(H23.5.6 指定)	

## (8) 有形民俗文化財

名称	区分	概要	
ながたき なかばん ひ <b>長滝 中ノ番</b> 曳きだんじり	市指定 有形民俗 文化財	文久2年(1862)に岸和田市で制作され、明治23年(1890)に購入。蟻通神社の祭礼(10月)で使用している。だんじりは破風が大屋根の両方にある四ツ屋根だんじりで珍しいからくり式である。(H7.1.10 指定)	
じげんいん こけら きょう <b>慈眼院 こけら 経</b>	市指定 有形民俗 文化財	「卒塔婆」「経木」とも呼ばれ、木片に法華経を写したもの。鎌倉時代のものと考えられ、束状で現存する数少ない資料で、中世の民間信仰の証である。(H8.4.4 指定)	

## (9) 無形民俗文化財

名称	区分	概要	
かしい 横井さんや踊り	市指定無形民俗文化財	横井西地区のみに伝わる郷土芸能で、泉南地区で踊られる盆踊りの中でも太鼓を打ち下駄を踏みならす豪快で激しい動きに特色がある。大坂夏の陣、横井合戦の靈を慰めるため始まったとされる。(H13.3.29 指定)	
おおぎ ひばしりじんじゃあきまつ 大木火走神社秋祭り の担いダンジリ行事	市指定無形民俗文化財	泉佐野市大木の火走神社の秋季例祭で唯一「担いダンジリ」の形態を残す。上・中・下大木の3台のダンジリが奉納され、子どもばやし等が行われる。(H20.10.1 指定)	
さの 佐野くどき	市指定無形民俗文化財	各地の盆踊りで披露され、太鼓と三味線の美しい音色とゆったりした音頭、踊り手の優雅な舞が特徴。(H18.8.9 指定)	
ひねじんじゃ 日根神社まくらまつり	市指定無形民俗文化財	日根野・上之郷・長瀧地区が順番に毎年5月4日5日に行われる春季例祭で、飾りまくらを取り付けたまくら幟3幟が巡行する。良縁、安産、豊作を込めて地区の女性の手によりまくらがつくられる日本で唯一のまつり。(H24.12.5 指定)	

## (10) 遺跡(史跡)

名称	区分	概要	
ひねのしう いせき 日根荘遺跡 (指定地16ヵ所)	国指定史跡	現在の泉佐野市全域に広がる九条家領荘園。日根野・土丸・大木地区に16ヵ所の指定が点在。岩手県骨寺村荘園遺跡、群馬県新田荘遺跡と並ぶ日本を代表する荘園遺跡。(H10.12.8 指定)	
さの おうじあと 佐野王子跡	府指定史跡	熊野街道沿いにあった熊野九十九王子社の1つ。「後鳥羽院熊野御幸記」にも記される。春日町の春日神社に合祀される。他に貝田王子跡、糸井王子跡がある。(S22.4.9 指定)	

## (11) 名勝地(名勝)

名称	区分	概要	
いぬなまさん 犬鳴山	府指定名勝	本市東南部和泉山脈の山中、尾根が重なる高峰と深い谷筋を流れる犬鳴川が美しい山。中に修験の開祖役小角の開いた真言宗犬鳴派総本山の七宝瀧寺、葛城修験二十八宿の一つ、灯明ヶ岳がある。そこには長禄3年(1459)の板碑が残る。(S14.2.6 指定)	

## (12) 動物、植物、地質鉱物(天然記念物)

名称	区分	概要	
慈眼院の姥桜 じげんいん うばざくら	府指定 天然 記念物	本堂の横、隣接する日根神社境内に沿って植えられた彼岸桜。弘法大師の杖桜、豊公の植樹桜とも呼ぶ。江戸時代の「和泉名所図会」では奇代の大樹と書かれている。(S45.2.20 指定)	
北庄司邸のくす、 北庄司邸のいすのき きたしょうじてい のくす、 きたしょうじてい のいすのき	府指定 天然 記念物	日根野地区の個人宅にある樹木。くすは樹齢200~300年の大木。いすのきは府下では岬町のものと並び、北限域に生育するめずらしい木。 (S48.3.30 指定)	

## (13) 文化的景観

名称	区分	概要	
日根荘 大木の農村景観 ひねのしょうおおぎ のうそんけいがん	重要 文化的 景観	中世の日根荘以来の自然、風土、人がひとつになって後世に受け継がれる景色であり、中世日根荘から受け継がれ、近世から現代にかけて緩やかに進化を遂げた農村景観が評価される。 (H25.10.17 指定)	

## (14) 重要美術品(重要美術品等ノ保存ニ関スル法律)

名称	区分	概要	
短刀 銘則重 たんとう めいのりしげ	重要 美術品	個人所有の短刀。則重の銘が残る。(S11.09.12 認定)	

## 4. 文化財施設の概要

市内には、泉佐野市が所有する文化財施設が5つある。それらの概要については以下のとおりである。

### 4-1 泉佐野市立歴史館いづみさの

本市の歴史文化資源を保存継承するとともに、歴史文化の普及啓発を目的として平成8年（1996）に開館した博物館相当施設である。平成28年度から指定管理者制度を導入しており、公益財団法人大阪府文化財センターが管理運営している。

常設展「中世荘園の人びと」の他、江戸時代から近代までの泉佐野市の歴史資料の展示、その他特別展、企画展、特別展示などを実施している。

令和3年（2021）1月に館内のエントランスホールを日本遺産ガイドダンスセンターに改修しており、日本遺産を紹介する展示施設が整備されている。



### 4-2 泉佐野ふるさと町屋館（旧新川家住宅）

泉佐野ふるさと町屋館として活用されている旧新川家住宅は市指定有形文化財に指定されており、佐野町場の中に立地している。江戸中期（18世紀）の町屋建築を見学できる他、展示物である当時の生活資料等も見ることができる。平成18年度から指定管理者制度を導入しており、NPO法人泉佐野にぎわい本舗が管理運営している。

施設の貸し出しも行っており、コミュニティスペースや展示会、文化教室、コンサートなどに活用されている。



### 4-3 旧向井家住宅

旧向井家住宅は市指定有形文化財に指定されており、土丸地区に立地している。泉南地域の江戸時代の建築様式をよく残すかやぶき民家を見学できる他、地元農作物の販売など地域活動の場になっている。地元ボランティア団体である「かやぶき保存会」の協力を受けて管理運営されている。



#### 4-4 大將軍湯

大將軍湯は国の登録有形文化財に登録されており、佐野町場の中に立地している。建立年代は20世紀前半と推定され、この地域において古い銭湯の建物が失われる中で、建立当初の形式を残す貴重な遺構であり、町場の景観を形成する構成要素として非常に重要となっている。近隣住民有志により発足した「大將軍湯保存会」に委託し、日常管理を行っている。



#### 4-5 奥家住宅

奥家住宅の建造物は国の重要文化財に指定されており、南中樺井の熊野街道沿いに立地している。17世紀はじめの豪商の館で、敷地の中に主屋、表門、長屋、土蔵などが建ち並んでいる。特に主屋はこの地域特有の食い違い四間取りで、大黒柱は太さ九寸もあり棟持梁の上面は未加工のままという大変古い建築様式を残している。近隣住民有志により発足した「奥家保存会」に委託し、日常管理を行っている。

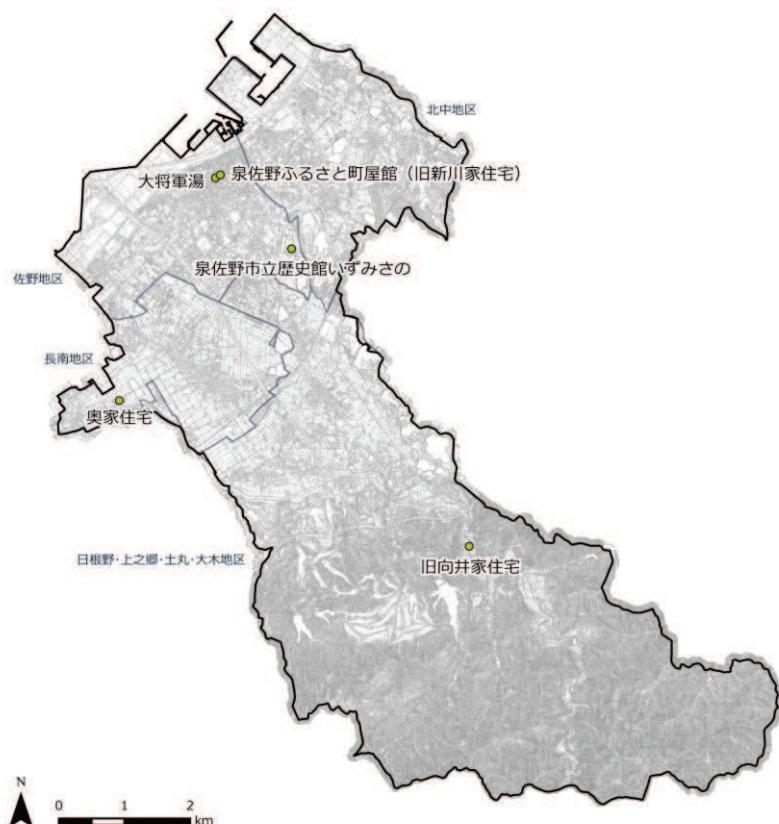


図2-4 文化財施設の分布

## 5. 日本遺産の概要

### 5-1 『旅引付と二枚の絵図が伝えるまち―中世日根荘の風景―』の概要

九条家の領地「日根荘」を中心としたストーリーで、令和元年度に認定された。単一の市町村内でストーリーが完結する「地域型」として認定されており、構成文化財は24件となっている。

#### 【ストーリーの概要】

今から800年前、泉佐野市は上級貴族、九条家の領地「日根荘」でした。ここには二枚の莊園絵図と九条政基が書いた「旅引付」という日記が残されています。絵図には緑豊かな風景に、田畠に恵の水を注ぐため池や水路、社寺などが描かれ、日記には500年前の村の生活や人々の様子がいきいきと記されています。莊園の地を創り、中世から受け継がれてきた現在のこの風景は、絵図や日記に描かれた魅力ある農村景観へと誘ってくれるのです。

表2-10 『旅引付と二枚の絵図が伝えるまち―中世日根荘の風景―』の構成文化財

名称	指定等の状況	名称	指定等の状況
日根荘遺跡	国史跡	七宝瀧寺絹本著色尊勝曼荼羅図	市有形文化財
日根荘大木の農村景観	重要文化的景観	七宝瀧寺絹本著色不動明王八大童子図	市有形文化財
犬鳴山	府名勝	犬鳴山七宝瀧寺並びに大木村絵図	市有形文化財
火走神社摂社幸神社本殿	重要文化財	慈眼院木造棟札	市有形文化財
慈眼院多宝塔 附仏壇1基	国宝	湊遺跡出土鳥帽子	市有形文化財
慈眼院金堂 附棟札2枚	重要文化財	慈眼院こけら経	市有形民俗文化財
総福寺鎮守天満宮本殿	重要文化財	大木火走神社秋祭りの担いダンジリ行事	市有形民俗文化財
日根神社末社比売神社本殿	府有形文化財	日根神社まくらまつり	市有形民俗文化財
慈眼院大日如来坐像	府有形文化財	犬鳴山七宝瀧寺	未指定建造物
中大木地区木造薬師如来坐像及び両脇侍像	府有形文化財	土丸蓮華寺	未指定建造物
七宝瀧寺銅鉢	府有形文化財	土丸極楽寺	未指定建造物
七宝瀧寺絹本著色不動明王二童子四十八使者図	府有形文化財	火走神社ホタキ神事	未指定無形民俗文化財

### 5-2 『荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落～』の概要

北前船寄港地・船主集落を中心としたストーリーで、平成29年度に認定されていたものに、令和2年度に泉佐野市が追加認定された。複数の市町村にまたがってストーリーが展開する「シリアル型」として認定されており、泉佐野市内の構成文化財は1件となっている。

#### 【認定自治体（◎印は代表自治体）】

山形県（◎酒田市、鶴岡市）、北海道（函館市、松前町、小樽市、石狩市）、青森県（鰯ヶ沢町、深浦町、野辺地町）、秋田県（秋田市、にかほ市、男鹿市、能代市、由利本荘市）、新潟県（新潟市、長岡市、佐渡市、上越市、出雲崎町）、富山県（富山市、高岡市）、石川県（加賀市、輪島市、小松市、金沢市、白山市、志賀町）、福井県（敦賀市、南越前町、坂井市、小浜市）、京都府（宮津市）、大阪府（大阪市、泉佐野市）、兵庫県（神戸市、高砂市、新温泉町、赤穂市、洲本市、姫路市、たつの市）、鳥取県（鳥取市）、島根県（浜田市）、岡山県（倉敷市）、広島県（尾道市、呉市、竹原市）、香川県（多度津町）

### 【ストーリーの概要】

日本海や瀬戸内海沿岸には、山を風景の一部に取り込む港町が点々とみられます。そこには、港に通じる小路が随所に走り、通りには広大な商家や豪壮な船主屋敷が建っています。また、社寺には奉納された船の絵馬や模型が残り、京など遠方に起源がある祭礼が行われ、節回しの似た民謡が唄われています。

これらの港町は、荒波を越え、動く総合商社として巨万の富を生み、各地に繁栄をもたらした北前船の寄港地・船主集落で、時を重ねて彩られた異空間として今も人々を惹きつけてやみません。

表2-11 『荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落～』の構成文化財（泉佐野市）

名称	指定等の状況	名称	指定等の状況
食野家邸宅跡	未指定史跡	野出墓地	未指定史跡
いろは蔵通り	未指定建造物群	食野家一統資料群	未指定有形文化財
西法寺	未指定建造物	禪徳寺船主資料群	未指定有形文化財
春日神社	未指定建造物	ふとん太鼓	未指定無形民俗文化財
妙淨寺梵鐘	市有形文化財	佐野くどき（佐野踊り）	市無形民俗文化財
旧佐野浦の町並み	未指定建造物群	奉納弁財船	未指定有形民俗文化財

### 5-3 『「葛城修験」—里人とともに守り伝える修験道はじまりの地』の概要

葛城修験を中心としたストーリーで、令和2年度に認定された。複数の市町村にまたがってストーリーが展開する「シリアル型」として認定されており、泉佐野市内の構成文化財は6件となっている。

### 【認定自治体（◎印は代表自治体）】

◎和歌山県（和歌山市、橋本市、紀の川市、岩出市、かつらぎ町）、大阪府（岸和田市、泉佐野市、河内長野市、和泉市、柏原市、阪南市、岬町、河南町、千早赤阪村）、奈良県（五條市、御所市、香芝市、葛城市、王寺町）

### 【ストーリーの概要】

和歌山～大阪～奈良の境に聳える葛城の峰々。修験道の開祖と言われる役行者がはじめて修行を積んだこの地は、世界遺産の吉野・大峯と並ぶ「修験の二大聖地」と称されています。この地には、役行者が法華経を1品ずつ埋納したという28の経塚があり、今も修験者たちは、その経塚や縁の寺社、滝や巨石を巡ります。そしてその修行にはいつの時代も、この地に暮らす人々との深いつながりがありました。修験者や地域の人々が大切にしてきた聖地「葛城修験」—修験道の歴史は、ここから始まりました。

表2-12 『「葛城修験」—里人とともに守り伝える修験道はじまりの地』の構成文化財（泉佐野市）

名称	指定等の状況
犬鳴山七宝瀧寺 鈴杵ヶ嶽 五百弟子受記品	未指定有形民俗文化財
犬鳴山（七宝瀧寺）	未指定建造物
行者の滝を含む7つの滝	府名勝
奥家住宅	重要文化財
日根荘大木の農村景観 他	重要文化的景観

## 6. 地区別の歴史文化資源

歴史文化資源を地区別に整理すると、下表のとおりとなる。長南地区は、熊野街道・熊野詣との関連性のあるものが多いことが特徴である。佐野地区は、中世では市場、佐野漁民が、近世では佐野浦から佐野町場として発展してきた歴史があり、北前船主食野・唐金家ゆかりのものや海と地場産業に関連性のあるものが多いことが特徴である。北中地区も、海沿いにあり、熊野街道や紀州街道などが通っているものの歴史文化資源が他地区より少ない。日根野・上之郷・大木・土丸地区は、中世莊園や葛城修験に関わるもの、自然由来の名勝等が他地区より多く存在することが特徴である。

表2-13 地区別の主な歴史文化資源

	長南地区	佐野地区	北中地区	日根野・上之郷・ 大木・土丸地区
	旧長滝村・ 旧南中通村	旧佐野村	旧北中通村	旧日根野村・ 旧大土村・ 旧上之郷村
主な 建造物		<ul style="list-style-type: none"> <li>・妙光寺三十番神堂</li> <li>・上善寺本堂</li> <li>・旧新川家住宅</li> <li>・池田谷家住宅</li> <li>・大将軍湯</li> <li>・妙光寺本殿</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・奈加美神社</li> <li>・新井家住宅</li> <li>・大光寺本堂</li> <li>・元成寺本堂</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・慈眼院多宝塔</li> <li>・日根神社本殿</li> <li>・比売神社本殿</li> <li>・意賀美神社本殿</li> <li>・火走神社摂社幸神社本殿</li> <li>・旧向井家住宅</li> </ul>
主な美術 工芸品	<ul style="list-style-type: none"> <li>・蟻通神社 蟻通奉納百首和歌</li> <li>・永福寺木造阿弥陀如来立像</li> <li>・清福寺木造千手觀音菩薩座像</li> <li>・蟻通神社 板地著色 神馬図絵馬</li> <li>・蟻通神社 板地著色 三十六歌仙図絵馬</li> <li>・八幡神社の夜念仏の灯籠</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上善寺木造阿弥陀如来立像</li> <li>・法薬寺木造薬師如來坐像</li> <li>・六地蔵菩薩・六觀音菩薩・釈迦如來・阿彌陀三尊の石造立像</li> <li>・妙光寺絹本着色仏涅槃図</li> <li>・妙淨寺梵鐘</li> <li>・佐野町全図</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大光寺木造薬師如來坐像</li> <li>・元成寺親鸞聖人絵伝</li> <li>・正覺寺 木造阿彌陀如來立像</li> <li>・上瓦屋村全図</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・慈眼院大日如來坐像</li> <li>・極樂寺木造阿弥陀如來坐像</li> <li>・七宝瀧寺絹本着色不動明王二童子四十八使者図</li> <li>・禪德寺絹本着色釈迦三尊十大弟子及十六羅漢図</li> <li>・西上寺絹本着色仏涅槃図</li> </ul>
主な民俗 文化財	<ul style="list-style-type: none"> <li>・だんじり・やぐら</li> <li>・日枝神社の力石や牛神</li> <li>・樅井さんや踊り</li> <li>・盆踊り</li> <li>・氏子による座</li> <li>・観音講・地蔵講</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふとん太鼓</li> <li>・佐野くどき</li> <li>・ガザミ（ワタリガニ）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・だんじり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・慈眼院のこけら経</li> <li>・大木火走神社秋祭りのダンジリ行事</li> <li>・日根神社のまくらまつり</li> <li>・牛神の信仰</li> <li>・義犬伝説</li> </ul>
主な 記念物等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長滝墓地</li> <li>・禅興寺跡</li> <li>・樅井王子跡</li> <li>・蟻通神社旧社地</li> <li>・樅井城跡</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・佐野王子跡</li> <li>・佐野町場</li> <li>・佐野松原</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・檀波羅密寺跡</li> <li>・湊ノ平松</li> <li>・顯如の隠れ井戸</li> <li>・城館跡</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日根荘遺跡</li> <li>・日根荘大木の農村景観</li> <li>・犬鳴山</li> <li>・慈眼院の姥桜</li> <li>・ろじ渓</li> <li>・和泉層群化石産出層</li> <li>・樅井川流域絶滅危惧種</li> </ul>
文化財 施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・奥家住宅</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・泉佐野ふるさと町屋館（旧新川家住宅）</li> <li>・大将軍湯</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・泉佐野市立歴史館いずみさの</li> <li>・旧向井家住宅</li> </ul>
主な 日本遺産		<ul style="list-style-type: none"> <li>・荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落～</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・旅引付と二枚の絵図が伝えるまち一中世日根荘の風景一</li> <li>・「葛城修験」－里人とともに守り伝える修験道はじまりの地</li> </ul>